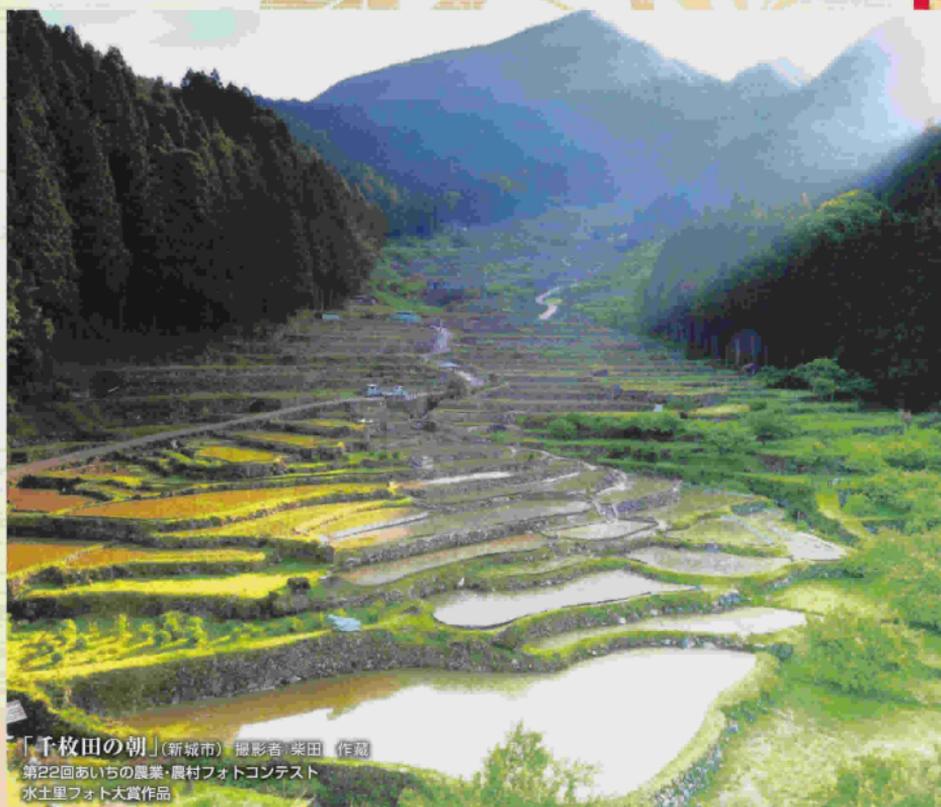


# 愛知の土地改良

新年のご挨拶	2	男女共同参画推進	20
表彰	7	広報活動	22
要請活動	7	土地改良区情報	27
事業情報	13	お知らせ	27
研修会	16		

No.  
**209**  
令和6年1月号



みどり  
水土里ネット愛知

発行/愛知県土地改良事業団体連合会  
名古屋市区来生一丁目18番25号  
電話(052)551-3611(代)



# 新年のご挨拶

## 新年を迎えて

愛知県土地改良事業団体連合会  
会長 中野 治美



新年にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。  
会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営及び農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2020年当初より始まった新型コロナウイルス感染症は、昨年5月から新型コロナの位置づけが2類相当から5類に緩和されたことにより、社会経済活動はコロナ前の状況に戻つつあります。一方、世界に目を向けると、ウクライナ問題、米中対立、中東地域での武力衝突等国際情勢は混迷を深め、さらに世界各地で、気候変動、自然災害の激甚化・頻発化が社会情勢に大きな影響を与えております。

本県においても6月2日、台風2号の影響で発生した線状降水帯は三河地域を中心に記録的豪雨をもたらし、1日の最大降水量としては、豊橋、岡崎、蒲郡、新城、田原の5市で観測史上最大となりました。中でも東三河地域の豊橋市と豊川市に警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令され、農林水産被害は両市を含め19市町村にものぼり、農地、農業用施設に甚大な被害が発生しました。被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、本会といたしましても、災害復旧に向けて引き続き努力して参ります。

さて、国の農業農村整備関係予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円が確保され、また、令和6年度当初予算政府原案は昨年度を上回る4,463億円で、補正予算と合わせて6,240億円が確保されました。具体的な内容としては、農地の大区画化や汎用化・畑地化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による

適切な保全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集排水施設の整備等を推進することとしております。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削されてきました。戦後は各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額は全国有数の、中部地方最大農業県となりました。これを支えていくためには、既存の大規模水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくための国営事業・水資源機構営事業の着実な推進と、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を計画的・安定的に実施していく必要があります。そのためには当初予算の安定的な確保が不可欠であり、本会ではあらゆる機会をとらえて愛知県、関係愛知県議会議員、農林水産省、関係国会議員に対して強力に要請活動を展開し予算確保に全力で取り組んで参る所です。

また、改正土地改良法に伴う土地改良区への複式簿記会計の適切な運用を始め、男女共同参画推進等の多様な人材の参画による組織運営体制の強化など、新たな時代にふさわしい水土里ネットの創造に向けても、しっかりと対応しなければならぬと考えております。会員各位の益々のご協力をお願いいたします。

水土里ネット愛知は、会員の皆様方のご意見等を反映しつつ、「闘う土地改良」「土地改良は未来の礎」のスローガンの下、業務運営に一層の鋭意努力をして参ります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新春を迎えて

愛知県知事  
大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、アフターコロナへの動きが加速する中、安心な日常生活を取り戻し、社会経済活動を回すための取組をオール愛知一丸となって進めてまいりました。

そうした中、昨年は、新たに「ものものけの里」が開園した「ジブリパーク」を始め、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION AI」や「愛知国際アリーナ」の整備を着実に推進するとともに、2026年の愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会に向けた準備をしっかりと進め、愛知を更なる「飛躍」へと導く1年とすることができました。

また、国に先駆けて取り組んだ「少子化対策パッケージ」や、本県独自の「休み方改革プロジェクト」など、時代の流れを見極めながら、愛知が「ファースト・ベンチン」となり、様々な取組に果敢にチャレンジした1年でもありました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、SDGs実現に向けた潮流など、大きく変化をしています。こうした変化に的確に対応し、将来にわたり、愛知が成長を続けていくためには、何より、愛知を支える「人

づくり」が重要となります。

今年も、日本の未来を形づくるビッグプロジェクトを着実に進めるとともに、新時代を担う人材の育成・発掘に力を注ぎ、「日本一元気なあいち」の実現を目指してまいります。

今年3月には、ジブリパーク最大のエリアである「魔女の谷」が開園し、フルオープンを迎えます。また、10月には、「STATION AI」がよいよ開業します。世界中から、最先端の技術・サービス、人材を愛知に呼び込み、新たなイノベーションを次々と創出することで、更に人材が育ち集まってくる、そうした人材の好循環を生みだし、更なる愛知の成長につなげてまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様的生活と社会福祉の向上にも力を注いでまいります。

引き続き、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶

財務大臣政務官  
全国水土里ネットワーク会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。愛知県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。引き続き、現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年も何卒宜しくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下において、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止の傾向であり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円(TPP等対策:760億円、食料安全保障対策:460億円(うち重複300億円)、国土強靱化5か年加速化対策:857億円)が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、制定以来四半世紀を経過した食料・農業・農村基本法の初めての改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、少数のメンバーで議論を重ねました。私は、この3分科会の全てに委員として参画し、農地政策検討分科会では事務局長を務めました。そして、昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反

映されたところです。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案とともに関連法案と予算制度につながっていくわけです。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保、生産資材の確保、輸出の強化、農産物の適正価格の推進、環境負荷低減に資する取組促進、地域計画に基づく人・農地の確保、スマート農業の導入促進、地域社会の維持等を具体的な施策として進めるべきとの内容になっています。

私は、従来から我が国の食料供給力(食料自給力)の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

また、主食用米の生産調整を軸にした転作奨励金施策を転換して、食料安全保障を強化するために目標自給率の達成に必要な品目ごとの生産努力目標を前面に出して、生産者にも消費者にも分かりやすい政策を展開すべきと主張しています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も現場で必要となる土地改良予算の安定的な確保に努めるとともに、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進していきたいと決意を新たにしております。皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、また、貴連合会の一層のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。

# 新年ご挨拶

全国水士里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫



輝かしい初春を迎え、愛知県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年の異常な気象状況の中で昨年も、線状降水帯の発生など、梅雨前線の停滞に伴う被害や連続する台風被害などにより、広い範囲で強風、湛水の被害、土砂災害などが発生しました。また夏場の高温被害や、濁水による水源の枯渇など農業用水が安定供給されない事態もございました。被災された全ての方々へ心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設等の適切な管理並びに厳しい状況の中で土地改良区の運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた経験をもとに、特に昨年は、私が現場でお聞きした皆様声を進藤金日子議員とも連携しながら、国会等で発信し、皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、全力で努力させていただきました。これらご要請を含め、昨年11月に成立した平成5年度補正予算では、農林水産関係で総額8,182億円、このうち、土地改良関係については、昨年第二次補正予算から100億円アップの1,777億円(食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化857億円)を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望が

あった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増高分の7割を支援する制度の継続も含まれていました。また、令和6年度当初予算の概算額としては、前年を上回る4.463億円が計上され、総額6,240億円となりました。参議院予算委員会の理事として、これから行われる通常国会で、早期成立に向けて尽力していきます。

また、今通常国会では、四半世紀ぶりに「農政の憲法」と言われる食料・農業・農村基本法の改正を行う予定ですが、カロリーベースで6割超を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化についてしっかり議論を進め基本法に位置付けていく必要があります。さらに国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、適切に施設の保全管理が図られるようしっかりと土地改良区の運営強化を推進していくことが重要です。

私も、昨年遷居を迎えました。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりとお伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、愛知県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申し上げ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

## 年頭のご挨拶

愛知県農林基盤局長  
長田 敦司



あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、中野会長を中心に、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で線状降水帯による豪雨が発生し、本県では6月2日に東三河地域を中心に記録的な豪雨に見舞われ、大きな被害を受けました。近年、豪雨災害は激甚化・頻発化の傾向が顕著となっており、本県においては南海トラフ地震の発生も危惧されていることから、災害を未然に防止する排水機場やため池の地震・豪雨対策の推進が重要であります。

また、高度経済成長期に集中的に造成された農業水利施設などの老朽化が急速に進み、管路の漏水事故等の突発的な事故が頻発していることから、施設の老朽化対策も急務となっております。

県としましては、地震・豪雨対策や老朽化対策を計画的に進めていくことに加え、大規模災害や事故発生時に迅速な復旧対応が可能となるよう、県が国に要望し拡充された制度を活用し、県有の備蓄倉庫を建設するとともに、スベア資材の事前確保に取り組んでまいります。

こうした中、国の農業農村整備関係予算は、2023年度補正予算で「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を含め1,777億円が確保され、2024年度当初予算につきましては4,463億円が見込まれております。県としましては、地域のニーズに応じた計画

的な事業実施に必要な予算を確保し、「食と緑の基本計画2025」で掲げる「生産の柱：持続的に発展する農林水産業の実現」、「暮らしの柱：農林水産の恵みを共有する社会の実現」という2つの施策の柱に基づき、農業生産基盤の整備や地域の防災減災対策などを着実に推進してまいります。

さて本県では、「あいちの農業用水展」などの農業農村整備のPR活動に取り組んでおり、今年度からの新たな試みとして、県内約2,000か所ある農業用ため池について理解を深めていただくよう、「What'sため池」と題したイベントを刈谷市の岩ヶ池で開催しました。貴連合会を始め土地改良区や地元活動組織の皆様のご協力のおかげで大勢の方々に参加され、参加者からは、「とても勉強になる楽しいウォークラリーだった」、「池を歩くいい機会になった」との声も頂き、広く県民の方々のため池の歴史や魅力を知ってもらうことができました。

今後も農業農村整備に親しみを持ってもらえるよう、工夫を凝らしながら取り組んでまいりますので、貴連合会におかれましては、本県農業農村整備の推進に一層の御尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を有する農地や農業用水利施設等の保安全管理、土地改良区の新たな体制づくりに御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の御発展と会員各位の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 表彰

## 第75回 愛知県条例表彰

愛知県では、愛知県表彰条例（平成15年条例第6号）に基づき、地方自治、産業、教育文化などの各分野において功績が顕著な個人（団体）に対し、毎年愛知県知事より表彰が執り行われております。

このたび、多年にわたり土地改良事業の推進に

尽力され、地域の農業基盤の整備や農業の振興に貢献された方々に対し以下の表彰が贈られました。

これまでの功績に感謝を申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

### 地方自治功労者表彰

清水 元久 様（下山土地改良区理事長）

横山 光明 様（元本会理事・前設楽町長）

### 産業功績者表彰

山口 文雄 様（本会理事・幸田土地改良区理事長・矢作南部土地改良区連合理事長）

黒柳 和義 様（元高落用水土地改良区理事長）

# 要請活動

## 農業農村整備の集い

### — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

11月7日（火）、東京都千代田区の砂防会館別館 シェーンパルハ・サボーで農業農村整備の集いが開催された。

全国水土里ネット主催のこの集いは、全国の土地改良関係者が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と年2回開催されている。本県からは、小久保三夫副会長始め、本会会員、愛知県農林基盤局より31名が参加した。

主催者挨拶として、二階俊博全国水土里ネット会長は、来年度予算編成に向けた折衝が進んでいる中、農家の方々へ期待を持って働いていただく環境を作るため、充分な予算確保に向けて一致団結していくことを宣言された後、男女共同参画への取り組みについて、「まだまだ出発点に立ったばかり



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶

りだが、土地改良団体の強化のためには必要不可欠な取り組みである。土地改良区と県土連の女性登用を推進するという目標の達成に向けて、皆で頑張っていく。」と力強く宣言された。

8ページへ続く

続いて、宮下一郎農林水産大臣より、「我が国の農林水産業は、国民生活に必要な不可欠な食料を供給するとともに、国土保全等の多面的機能を有している。一方で、農村の人口と生産者の減少が一層進む中で、将来にわたって持続可能な食料供給基盤を構築することが急務となっている。人口減少を乗り越え、全国各地で営農活動を継続し、農業の成長産業化と地域の活性化を図っていくためには、限られた労働力で効率的な生産を行っていくことが不可欠であり、スマート農業の導入等、農地や農業水利施設の整備がこれまで以上に重要になってきている。また、カーボンニュートラルの実現に向けて、地域資源である農業用水を活用した小水力発電等の再生可能エネルギー導入の重要性も高まっている。我が国の農業、食品産業をとりまく情勢の変化を踏まえ、農政の基本的な方針である食料・農業・農村基本法について、平時からの食料安全保障の確立、環境に配慮した持続可能な農業・食品産業への転換、人口減少下でも持続可能で強固な食料供給基盤の確立といった観点から見直しを進めていく。農業農村整備事業関係の予算について、令和5年度は当初予算と前年度補正予算を合わせて6千億円を超える予算を確保した。令和6年度についても、しっかりとした予算を要求しているところである。11月2日には総合経済対策が閣議決定された。食料安全保障の強化や防災減災国土強靱化対策に万全を期すことができるよう、予算確保に全力で取り組んでいく。」との祝辞をいただいた。

その後、高市早苗経済安全保障担当・内閣府特別担当大臣、森山裕自由民主党総務会長並びにTPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、細田健一自由民主党農林部会長から祝辞が述べら



宮崎雅夫参議院議員による情勢報告

れ、予算確保や土地改良事業の更なる推進への意力を誓った。

また情勢報告として、宮崎雅夫参議院議員より全国各地で多くの方から意見をいただいている中で、「ほ場整備事業において「事業が計画通りに進まない、予算をしっかりと付けてほしい」という声をいただいた。これからのいよいよ土地改良関係予算の確保に向けて大変重要な時期になる。進藤議員としっかりとタッグを組んで、全国各地で地域の農業農村の発展に尽力いただいている皆さんの要望を実現できるよう、全力で取り組んでいく。また、総合経済対策、当初予算の満額確保、25年ぶりになる食料・農業・農村基本法の見直しについても確実な成果が得られるよう汗をかいていく。全国を積極的に回って、これからも皆さんの声をしっかりと伺っていきたい。」と述べられた。

最後に、「ガンバロウ三唱」として根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長、西彩副会長らが登壇され、持続可能な農山漁村の成長と発展のため、令和6年度当初予算の獲得を目指すとともに、男女共同参画を推進し、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現に向けて一致団結することを誓い閉会した。



宮崎雅夫参議院議員に要請書を手交



進藤金日子参議院議員に要請書を手交

# 令和6年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

## 〈東海農政局〉

10月20日(金)、中野治美会長より、令和6年度農業農村整備事業に関する18項目の重点要請

を、森重樹東海農政局長を始め、局幹部職員に対し実施した。



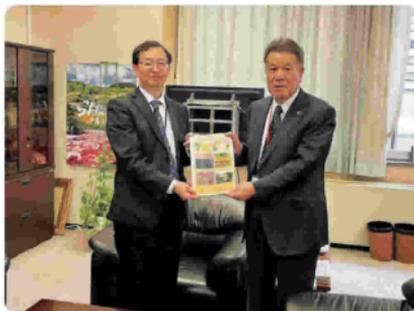
森東海農政局長に要請書を手交



東海農政局幹部への要請

## 〈農林水産省及び関係国議員〉

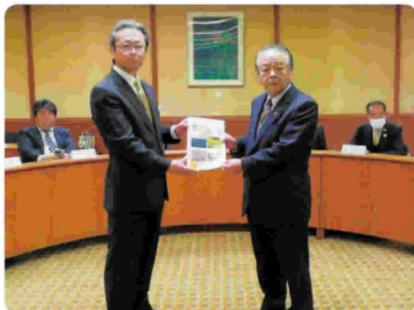
11月7日(火)、小久保三夫副会長より、令和6年度農業農村整備事業に関する18項目の重点要請を、青山健治農村振興局次長を始め幹部職員に対し実施した。午後からは、同内容の重点要請を、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員、藤川政人参議院議員始め愛知県選出の衆・参国国議員に対し実施した。



青山農村振興局次長に要請書を手交

## 〈自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟〉

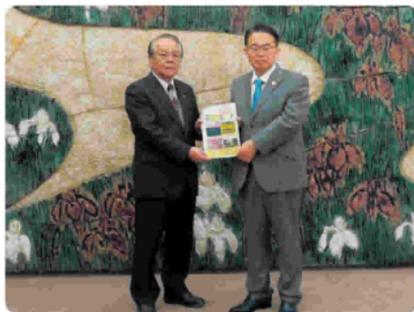
11月29日(水)、中根俊樹専務理事より、令和6年度農業農村整備事業に関する20項目の重点要請を、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

## 〈愛知県知事〉

その後、中野治美会長より同内容の重点要請を、大村秀章愛知県知事始め県執行部に対し実施した。



大村愛知県知事に要請書を手交

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり。

## 要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

国においては、令和6年度の概算要求におきまして、農業農村整備関連予算について、前年度比119.8%の5,338億円を要望しているところであります。

しかしながら、昨今の資材価格等高騰の中、地域ニーズに応じた事業を安定的、計画的に展開するためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であります。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水施設が造成され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、後世に引き継いでいくためにも、国営事業・水資源機構営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新

や機能保全対策を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまででも整備が進められてきましたが、このうち、木曾川用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、着実な事業実施をする必要があります。

また、愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず耐震対策を計画的に進める必要があります。

加えて、近年の自然災害の発生や大規模地震発生の将来予測を踏まえ、安定した農業経営、農村の安全・安心の暮らしの実現のため、防災減災に資する農業水利施設の地震・豪雨対策の計画的な整備が求められています。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて20項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

## 重点要請20項目

### I 地域ニーズに応じた農業農村整備事業の展開について

- 1 建設資材価格等の高騰分を含めた予算確保について
- 2 FRPM管の漏水事故による第三者被害の防止について
- 3 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 4 農業水利施設における電気代高騰分への支援について

### II 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業生産基盤整備の促進について
- 2 国土強靱化に資する農地防災事業の促進について
- 3 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 4 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 5 水利施設管理強化事業の促進について
- 6 単独土地改良事業等の推進について
- 7 農業用排水機場の適切な維持管理に対する支援について

### III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 明治用水頭首工地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 3 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 4 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 5 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期事業化について
- 6 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 7 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 8 水資源機構営 木曾川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 9 水資源機構施設の更新整備について

※国会議員・農林水産省には、IIの6・7を除く18項目を要請

# 農業用排水機県営移管期成同盟会 要請活動を実施

11月29日(水)、農業用排水機県営移管期成同盟会において、日比野郁郎会長職務代理人副会長が、大村秀章愛知県知事を始め、県執行部並びに

自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し排水機維持管理事業に関する要請を実施した。



大村愛知県知事に要請書を手交



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

要請書は次のとおり。

## 要請書

### 排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県営管理を要望してまいりました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されました。

このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助していただいているところであります。

現在、県営事業で計画的に農業用排水機の長

寿命化や更新を行っていただいておりますが、近年、各地で台風や豪雨による災害が発生しており、農業用排水機の管理者の責任はますます増大していることから、より高度な点検・整備と運転体制を確保する必要があると実感しております。

しかしながら、排水機維持管理事業の県補助額につきましては、本来の交付対象額が充足されていない状況が続いています。

この状況が更に続けば、排水機の適正な維持管理が困難になり、ひいては地域の防災機能の脆弱化を招き、地域住民の生命と財産を守ることが極めて困難になると懸念しております。

つきましては、こうした維持管理の現場における厳しい実情をおくみ取りいただき、排水機維持管理事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

## 第45回 全国土地改良大会 福井大会

「<sup>みどり</sup>水土里がある」 「<sup>しあわせ</sup>幸福」がある 「笑顔がある」  
～ふくいで語る土地改良の未来～

農業の営みとそれを支える農地や農村、それぞれの地域に根付いた人々の暮らしとそこで育まれた豊かな自然環境や伝統文化、人々の深い繋がりがや絆、それこそが福井が誇る幸福の原点であり、豊かさの源である。一見、あたりまえと思えるような日々の幸せの根底には、先人たちが築き、守ってきた水土里の存在とそれを支えてきた土地改良があることを忘れてはならない。

第45回全国土地改良大会 福井大会は、「<sup>みどり</sup>水土里がある」 「<sup>しあわせ</sup>幸福」がある 「笑顔がある」～ふくいで語る土地改良の未来～をテーマとして、ここ「幸せの地 福井」にて、今ある幸せな暮らしを将来に向かって守っていくために必要な土地改良の大切さを全国の皆様と共有し、発信する大会とする。

上記の開催趣旨のもと、第45回全国土地改良大会福井大会が、10月11日(水)、「サンドーム福井」

(福井県越前市)において、全国水土里ネット・水土里ネットふくいの主催により開催された。

全国各地から約4,000名の土地改良関係者が一堂に会し、土地改良事業・農産農村整備事業の重要性はもとより、混迷する世界情勢、世界的な気候変動が起きる中、食料安全保障へさらなる取組・必要性を共通認識とすることができた。(愛知県からは土地改良関係者約210名が参加)

式典では、山崎正昭水土里ネットふくい会長の挨拶を始め、義経賢二全国水土里ネット副会長の代読による主催者挨拶(二階俊博会長欠席)、開催県である杉本達治福井県知事を始め、山田賢一越前市長、佐々木勝久鯖江市長からの歓迎の言葉をいただき、武村展英農林水産副大臣、福井県選出の稲田朋衆衆議院議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子、宮崎雅夫両



集合写真

参議院議員からそれぞれ来賓挨拶が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰式が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。愛知県からは全国土地改良事業団体連合会長表彰として、平野瞳前十四山土地改良区理事長(前本会代表監事)が表彰の栄に浴された。式典の後半には、青山健治農林水産省農村振興局長次による基調講演の後、定司俊憲南砺市土地改良区理事長、川合久利子水土里ネットふくい理事による優良事例紹介があった。



義経全国水土里ネット副会長による主催者挨拶



山崎水土里ネットふくい会長による挨拶



水土里ネット千葉へ大会旗の引継ぎ



九頭竜川中央管理所での事業視察研修

福井県立大学の学生より力強い大会宣言がなされた後、次期開催県の千葉県に大会旗が引き継がれ、大会は盛会のうちに幕を閉じた。

12日(木)は事業視察研修会が行われ、本会は九頭竜川鳴鹿土地改良区が管理する中央管理所及び鳴鹿大堰の視察を行った。この管理所は、国営九頭竜川下流域農業用水パイプライン事業として整備され、20年の歳月をかけ平成30年に事業完工した施設である。ICTを活用した遠隔操作での給水や水量調整を行うなど先端技術を導入し、全国のモデル的な先進農業地域としての展開も期待されている。

## 令和5年度 農地・水・環境のつどい

11月26日(日)、安城市民会館サルビアホールにおいて、「農地・水・環境のつどい」を愛知県と水土里ネット愛知の共催で開催した。この催しは、優良活動表彰会と語り部交流会の2部構成になっており、愛知県内の地域共同活動における農用地・水路・農道等、地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及、県民の理解促進、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた



大村愛知県知事による主催者挨拶

活動に取り組む活動組織を表彰することを目的に毎年開催している。活動組織、会員等含め約500名が参加した。

第1部の優良活動表彰会では、大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、2組織へ愛知県知事賞が、4組織へ愛知県土地改良事業団体連合会長賞が授与された。その後、宮崎雅夫参議院議員、石井芳樹愛知県議会議長、青山健治農林水産省農村振興局長による来賓祝辞が述べられた。この後、愛知県知事賞を受賞した2組織の活動が活動組織より紹介され、宮崎雅夫参議院議員による講評、森重樹東海農政局長の挨拶をもって第1部が

終了した。

第2部は「2023語り部交流会inあいち」と題し“かたりすと”平野啓子氏による「疏通千里・利澤萬世 生命を育む明治用水」と題して講演を頂いた。続いて平野氏、愛知県内4つの活動組織（鋼田広域委員会、有明の農地・水・緑を守る会、榎前環境保全会、泉地域環境保全会）の代表者と青山農村振興局長次長による語りフォーラム「萬世につなぐ、生命を育む水と土」をテーマに意見交換が行われた後、長田敦司愛知県農林基盤局長による閉会の挨拶で幕を閉じた。

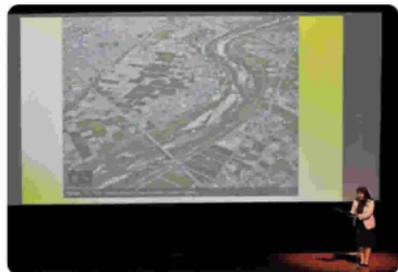
部門	愛知県知事賞	愛知県土地改良事業団体連合会長賞
農地・施設保全活動	箕輪町環境保全会(安城市)	岩作かかしの会(長久手町) 市田地区農村環境を守る会(豊川市)
農村環境保全活動	立田広域委員会(愛西市)	下小口地域資源保全会(大口町) 第5地域保全隊(東浦町)



優良活動表彰会での県土連合会長賞授与



宮崎雅夫参議院議員による来賓祝辞



“かたりすと”平野氏による語り部交流会

## 換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会

9月4日(月)、5日(火)、6日(水)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、標記研修会を開催した。

東海農政局土地改良管理課、名古屋法務局、愛

知県農地計画課及び農業振興課から講師を招き、愛知県、市町村、水土里ネット、コンサルタント等の換地技術者72名が出席した。

## 換地関係異議紛争処理実務研修会

11月17日(金)、全国水土里ネット主催による標記研修会が、水土里ネットみえにおいて開催され、農林水産省、東海農政局、岐阜県、三重県、愛知県、水土里ネットぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネット愛知、水土里ネット和歌山、全国水土里ネットから28名が出席した。以下の協議事項について説明がなされた後、活発な意見交換が行われた。



(敬称略)

協議事項	説明者
①換地を取り巻く状況について	農林水産省 農村振興局 整備部 土地改良企画課 企画官 谷川 航一
②換地関係異議紛争処理事例発表 事業実施中に不換地申出者が死亡し、相続人の一部から不換地の了承が得られず、換地処分が遅延し、その解消を図った事例	水土里ネット和歌山 総務指導課 課長 西本 周司
二度の一時利用地指定に係る訴訟があった紛争した地区を地元、行政等関係機関の協力によって権利者会議を開催するまで進めた事例	水土里ネット愛知 事業部 計画課 主査 山本 潤
③中央換地センター報告 換地技術者名簿の分析について 他	全国水土里ネット 中央換地センター 主任 平木 琢

### 令和5年度

## 土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修

9月15日(金)、愛知県土地改良会館7階大会議室において、令和5年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修を開催し、延べ52名が参加

した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村及び水土里ネット役職員の技術力向



佐藤事務局長による開講挨拶



東海農政局 小山事業調整室長による講義

上を図るべく、土地改良区体制強化事業の一環として実施している。

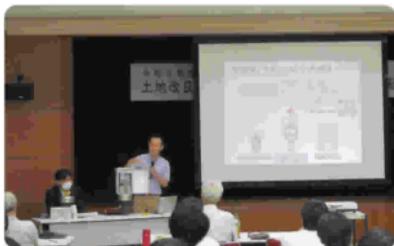
今年度は、情報通信技術（ICT）の活用や水田水管理省力化システム「水まわりくん」の事例紹介な



東海農政局 星専門技術指導官による講義

どを研修として企画した。

講師として、東海農政局、株式会社ほくつから当該事業を担当されているの方々をお招きし、それぞれの内容で具体的な講義が行われた。



株式会社ほくつ 釜田氏による講義

(敬称略)

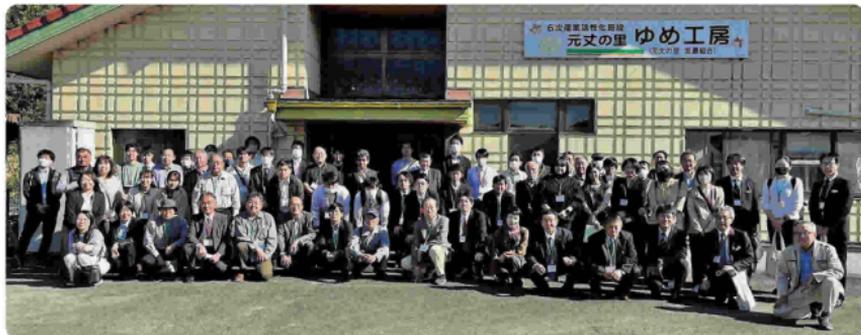
研修内容	講師
農業農村整備事業を取り巻く最新の動向と施策	東海農政局 農村振興部 設計課 事業調整室長 小山 幸生
会計検査の動向と工事監督員の基礎知識	東海農政局 農村振興部 設計課 工事検査官 阪部 正志
国営かんがい排水事業の概要	東海農政局 農村振興部 水利整備課 課長補佐 谷本 昌人
農業農村整備における情報化施工及び3次元データ活用	東海農政局 土地改良技術事務所 専門技術指導官 星 葉子
水田水管理省力化システム「水まわりくん」の概要説明及び事例紹介	株式会社ほくつ 経営戦略室 釜田 敦史

## 水土里ネット事業視察研修会

10月26日(木)、27日(金)、農業農村整備事業の推進を図るため、58名参加のもと、事業視察研修会を開催した。

1日目の視察は三重県多気町の立梅用水土地

改良区において、開設200周年となる立梅用水の歴史と土地改良区の概要に加え、地域でのスマート農業の導入について、農事組合法人元丈の里営農組合の高橋幸照代表理事より説明を受けた。



元丈の里「ゆめ工房」での記念撮影

18ページへ続く

同地区は、農業インフラの多目的活用による多面的機能発揮と強靱な中山間農業のための技術体系の実証として、全長30kmにも及ぶ立梅用水を効率的に管理するためのIoT化とWEB監視による一元化を実現しており、「デジタル農業」を前面に押し出した土地改良区の運営に参加者は興味深く説明を聴き入った。

また、営農組合では6次産業化の取り組みとして原材料の生産から加工品の生産・販売を行っており、参加者に米粉をブレンドしたパンケーキを提供いただいた。

2日目は、同県伊勢市の宮川用水土地改良区の管理する斎宮調整池において、土地改良区の管理する施設の概要と水管理システム等について森圭司事務局長、片岡睦史管理課長より説明を受けた。

水管理システムは、土地改良区の既存システムを改築(機能向上)して更新されており、国営関連



元丈の里 高橋代表理事による説明

事業・営農事業において施設更新があった場合にも、端末の追加やソフトウェアの更新により、追加導入が容易であるとの説明を受けた。

その後、斎宮調整池において、施設の保全状況を見学しながら、概要の説明を受けた。

いずれの研修先でも活発な質疑応答があり有意義な2日間となった。



宮川用水 森事務局長による説明



宮川用水 斎宮調整池の見学

## 農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会

11月21日(火)、22日(水)、農業用排水機県営移管期成同盟会の事業視察研修会を、株式会社鶴見製作所京都工場(京都府八幡市)、野洲川ダム(滋賀県甲賀市)にて実施した。研修会には同

盟会役員・会員あわせ49名が参加した。

研修1日目は、鶴見製作所京都工場において、会社概要・新製品説明を受けた後、同社職員の案内・説明により工場見学を行った。



(株) 鶴見製作所での研修

また、2日目は、野洲川土地改良区事務所において、小根田康人事務局長より土地改良区の概要説明を受けた後、野洲川ダムの視察を行った。

研修会は2日間を通して非常に充実した内容と

なり、各地域における今後の農業用排水機の維持管理や組織の運営について学習する良い機会とすることができた。



野洲川土地改良区事務所での研修



野洲川ダム取水ゲート見学

## 水土里情報システム活用操作研修会

水土里情報システムを用いて業務の効率化を図るための実務的な研修として、システム利用者に対する研修会を以下の内容にて実施した。

日程	対象	研修内容
10月19日(木) 10月20日(金)	愛知県職員 (13名参加)	水土里システムの基本的な操作方法を紹介した。(認証、画面構成、表示パターン管理、計測、属性表示、塗り分け、ラベル表示 検索、メモの作成、印刷等) また、県事業情報の運用の説明及び、新規地区作成及び継続地区更新の作業実習を実施した。
11月14日(火) 11月15日(水) 11月21日(火)	システム利用中の 16団体 (31名参加)	各組織が所有している台帳(賦課台帳、作付け台帳等)と水土里情報システムを連携し、所有者や作付け状況を図化する方法を紹介した。 活用データを投入するためのユーザーレイヤを作成し、そこから出力したCSVデータへの書き込み作業実習を実施した。

施設をクリックすると情報を確認できます。

施設概要	
SID	52670123
ID	1,669
管内	東三河
所属村名	A.A市
路線名	AA-P_1
区画番号	4
所在地	東三河C-0町C56-1
事業区画	00地区
設備名称	新築土地改良事業
事業地区名	00地区
完了年度	1982
施工区画	GG工区
延長	156
目的フラグ	
種別	VF
規模、尺・φ	250
状態	(無)
その他施設	排水性
管理区分	管理委託
維持所有者	〇〇土地改良区
維持管理者	〇〇土地改良区

水土里情報システムにおける施設管理

# 男女共同参画推進

## 令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会in Kazuno

～今、はじめる。まずはあなたの「まち」の土地改良区から～

9月27日(水)、秋田県鹿角市において「水土里ネット男女共同参画推進大会in Kazuno」が全国水土里ネット女性の会とあきた水土里ネット女性の会の主催により開催された。

近年、農業農村を取り巻く情勢は一層厳しさを増す中、土地改良区には多様な課題への対応が求められている。それらに対応していくためには、多様な人材の参画による様々な視点や考えを運営に活かして、持続可能で強固な組織運営体制を確立していく必要がある。

本大会は、男女共同参画の意義をより一層深め

るとともに、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的とし、各道府県的水土里ネット女性の会会員及び関係者が約220名参加した。

始めに、根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長による挨拶の後、佐藤一絵農林水産省農村振興局農村政策部長による基調講演、奥村千扶子大島塚土地改良区理事長始め多様なパネリストによるパネルディスカッションが行われ、28日(木)には現地研修も実施された。



根本全国水土里ネット女性の会会長による挨拶



佐藤農村政策部長による基調講演



今枝全国水土里ネット女性の会副会長(本会 総務課長補佐)による挨拶

いざ、スタート。  
2025年度に向けて—



今、はじめる。まずはあなたから—

## この町のみんなが 参加できる土地改良へ

### 女性理事登用

2025年度までに  
女性理事が占める割合を **10%** 以上に！

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

### 成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

対象：国土交通省農林部事務官(2020.12.31)  
全国農林事務所(2021.3)

### 組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に誘われている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないのでしょうか。



### 女性職員登用

### 働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できることから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

※女性理事が占める割合は0.6%から0.8%になりました。（令和5年3月31日時点）

## 第22回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 入賞作品発表

12月14日(木)、本会主催、愛知県後援の「第22回あいちの農業・農村フォトコンテスト」審査会を本会7階大会議室にて開催した。県内各地から、今回のテーマ「水土里が息づく景観と共にある土地改良施設」を表現した作品244点(118名)の応募があった。

審査は、審査会規程第2条により実施され、7名の審査員による厳正な審査の結果、水土里フォト大賞1点、優秀賞2点、入選10点、四季賞4点、多面的機能共同活動賞3点の合計20点が選考された。

また、愛知県農業土木測量設計技術研究会より豊かな農地あいち特別賞1点が選考された。



審査会の様子



大賞

### 水土里フォト大賞

「千枚田の朝」(撮影場所:新城市)

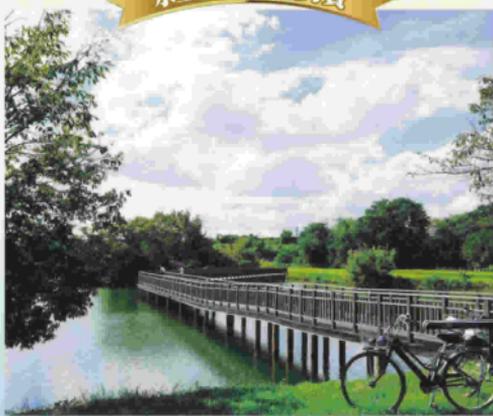
撮影者: 柴田 作蔵

作品は、表紙に掲載しております。

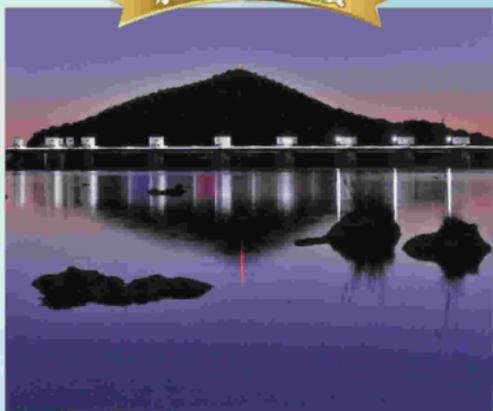
「夏休み」(撮影場所:犬山市 中島池)

撮影者: 後藤 庄樹

### 水土里フォト優秀賞



### 水土里フォト優秀賞



「トワイライト」(撮影場所:犬山市 犬山頭首工)

撮影者: 丹羽 明仁

### 第22回あいちの農業・農村フォトコンテスト入賞者名簿

(後継表)

賞	画題	氏名
水土里フォト大賞	千枚田の朝	柴田 作蔵
水土里フォト優秀賞	夏休み	後藤 庄樹
	トワイライト	丹羽 明仁
豊かな農地あいち特別賞	秋の羽布ダム	藤田 光雄
	夏の平地人道橋	赤川 久晃
	頭首工を彩る白い花	入倉喜巳男
	稲架掛け	神谷 正巳
	茜いろに染めた田園	木野 重利
	虫待つアオサギ	桑原 悦忠
	どうする歌康	原田 和也
	棚田夜景	丸山 賢治
	春の足音	山口 孝久
	豊川用水	山田 義孝
	改修工事完成	横田 英夫
	黄昏の半呂用水頭首工	高安 正和
	水土里フォト四季賞	雪の朝
飛ぶキャベツ		藤本 敦雄
ひまわりの絨毯		三島 宏
多面的機能共同活動賞	みんなで田植え	野原 洋司
	わーい!こすもす畑燕飛	三ツ川環境向上委員会 六ツ美中郡の会 稲穂支部
	彼岸花と川役	六ツ美中郡の会 稲穂支部

(西暦は氏名50音順)

水上里フォト四季賞



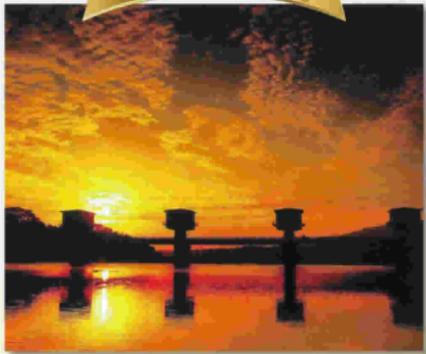
『飛ぶキャベツ』(撮影場所:知多市)  
 撮影者: 藤本 敦雄

水上里フォト四季賞



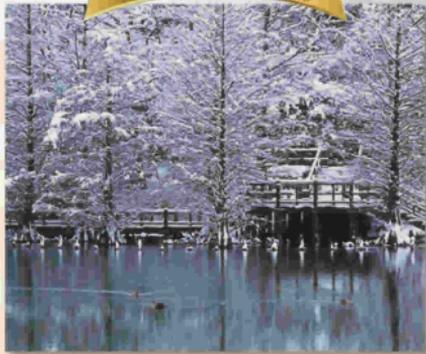
『ひまわりの絨毯』(撮影場所:刈谷市)  
 撮影者: 三島 宏

水上里フォト四季賞



『黄昏の牟呂用水頭首工』(撮影場所:新城市 牟呂松原頭首工)  
 撮影者: 高安 正和

水上里フォト四季賞



『雪の朝』(撮影場所:春日井市 大久手池)  
 撮影者: 早川 幸夫

★入賞・入選作品の展示を以下により実施します。是非お立ち寄りください。

展 示 場 所	展 示 期 間 (予定)
愛知県庁本庁舎・西庁舎地下連絡通路	令和6年1月22日(月)PM~1月29日(月)AM
海部県民事務所広報コーナー(海部総合庁舎1階)	令和6年1月29日(月)PM~2月 9日(金)AM
愛知県県民相談・情報センター(自治センター1階)	令和6年2月 9日(金)PM~2月22日(木)AM
西三河県民事務所広報コーナー(西三河総合庁舎1階)	令和6年2月22日(木)PM~3月 8日(金)AM
東三河総局広報コーナー(東三河総合庁舎1階)	令和6年3月 8日(金)PM~3月22日(金)AM

# 「未来へつなごう！ふるさとの水土里」 子ども絵画展2023

「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展2023に、全国から3,021点の応募があった。

今年で24回を迎えた本絵画展は、子どもたちが農村に関心をもってもらい、田んぼや水路、ため池による水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として、平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

有識者による厳正な審査の結果、入賞作品31点、地域団体賞作品52点、入選作品142点、佳作作品175点が決定した。

本県からは、入賞3点、地域団体賞8点、入選21点、佳作20点が選ばれ、本県の入賞作品は以下のとおり。

入賞

クマさんのふるさと賞

「大きな魚つかまえた！」  
深田 樹生さん 小2 名古屋市



入賞

日本水士総合研究所賞

「おいしいお米にな〜れ」  
畚名 実月さん 小5 安城市



入賞

東米商 グッドスマイル賞

「田んぼでたべるおにぎりおいしいな。」  
新海 華椰さん 小1 半田市



地域団体賞

愛知用水土地改良区理事長賞



「みんなでみたよたくわんづくり」  
山本 みなとさん 小1 武豊町

茶屋新田地域資源保全隊賞



「いなかの田うえ」  
滝本 祥さん 小2 名古屋市

水土里ネット豊田理事長賞



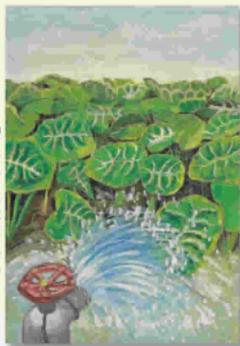
「現代の稲刈り」  
山本 涼楓さん 小6 豊田市

水土里ネット豊田総務委員長賞



「田植えがんばれおじいちゃん」  
栢原 菜々子さん 小3 豊田市

水土里ネット豊川総合用水理事賞



「たじもの水あそび」  
木村 玉翠さん 小5 安城市

油ヶ瀬用水土地改良区理事長賞



「パパのトラクター」  
彦坂 佑希さん 小2 豊橋市

水土里ネット豊田副理事長賞



「金色に輝く稲穂」  
崩 心美さん 小5 豊田市

水土里ネット明治用水理事賞



「アキアカネといね」  
河野 藍さん 小2 知立市

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できます。令和6年度に向けて「検討いただきありがとうございます」  
詳細は、水土里ネット愛知総務課（TEL:052-650-1306）までお問い合わせください。

# ため池PRイベント What's? ため池 ため池の歴史と魅力を解明します!!

10月22日(日)、刈谷市東境町の岩ヶ池公園において愛知県主催によるため池のPRイベントが開催され、本会は協賛団体として参加した。

愛知県は2007年に「愛知県ため池保全構想」を策定しており、ため池の整備・利活用の促進、ため池の持つ多面的機能の維持・増進を図ることとしている。今回のイベントを通じて身近にあるため池の存在・歴史・役割や、ため池の多面的機能を発揮するために必要な管理の大切さをアピールするため、刈谷市や近隣の土地改良区、多面的機能支払交付金活動組織等の協力の元、イベントを開催した。

晴天に恵まれた当日は、多くの来場者が会場に集まる中、'23ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんの司会によるオープニングセレモニーで幕

を開けた。長田敦司愛知県農林基盤局長による主催者挨拶の後、来賓として稲垣武刈谷市長、久野知英水士里ネット愛知用水理事、勝又久幸(公財)愛知・豊川用水振興協会理事長、中根俊樹水士里ネット愛知専務理事が出席し、それぞれ祝辞を述べられた。その後、「刈谷城盛上げ隊」による演奏や「カルテット ヴィオレ」によるフルート四重奏が披露され、来場者を楽しませた。

セレモニー後は、岩ヶ池の歴史や知識を学びながら池を周遊する愛知県主催のウォークラリーや各協賛団体が企画した関連イベントが終日実施され、本会はため池や用水に生息する生き物の水槽展示を行った。イベントは多くの来場者で終日にぎわい、好評の内に幕を閉じた。



岩ヶ池  
ウォークラリーの  
模様



長田農林基盤局長と  
ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんによる  
岩ヶ池の紹介



水士里ネット愛知による  
生き物展示

# 土地改良区情報

## 安城土地改良区 設立70周年記念式典

11月18日(土)、安城土地改良区の設立70周年を記念して土地改良区関係者が集い、式典が執り行われた。冒頭、開式のことばとして、神谷学安城土地改良区理事長より、「管内の主な施設は、設置から50年以上経過しているものも多い。そのため、現在は複数の県営事業が進んでいる。世代が変わりゆく中、今日では基盤整備事業の意味を知る人も少なくなったように感じる。農地の持つ役割を社会に伝えていくためにも、弛まらず努力していきたい。」との挨拶があった。

その後、愛知県土地改良事業団体連合会長と安城土地改良区理事長の感謝状贈呈があり、三星元人安城市長・古本伸一郎愛知県副知事・愛知県選

出国會議員による祝辞、宮崎雅夫参議院議員からの祝電が披露され式典は幕を閉じた。

式典後、台所文化伝承家「つながるキッチン」代表の中原麻衣子氏より「農村と都市のつながり方～安城市のファンをつくる～」と題した記念講演会が開催され、参加した関係者はその内容に熱心に耳を傾けていた。講演後には、「お箸教室」を営む中原氏が考案された「きみの箸」のプレゼント企画が催された他、安城農林高等学校、安城生活福祉高等専修学校、安城学園高等学校の学生が壇上に立ち、各校のPRと学生が作ったパンやジャムの即売会が実施された。



神谷理事長による挨拶



中原氏による記念講演

# お知らせ

## 研修会のご案内

研修会	開催日	対象者	研修場所
あいち水土里ネット女性の会	1月18日(木)	水土里ネット関係職員	愛知県土地改良会館 7階大会議室
水土里ネット役職員研修会	1月24日(水)	水土里ネット役職員	

## 農業基盤整備資金の金利のご案内

令和5年12月18日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店(TEL052-582-0741)までお問い合わせください。

区分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	1.25%	—	—	—	—
団体営	1.10%	—	—	—	—
非補助事業 一般	1.10%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.70%	0.70%	0.95%	1.10%

# 迎春

本年もよろしく願っています  
令和六年 元旦

会長	中野 治美	海部土地改良区理事長 向島土地改良区理事長
副会長	小久保 三夫	豊川総合水土地改良区理事長 豊橋開拓土地改良区理事長
専務理事	中根 俊樹	学識経験者
理事	穂積 英一	木津用水土地改良区理事長
〃	中野 正康	一宮市長
〃	瀬戸 三朗	宮田用水土地改良区理事長
〃	浜田 一徳	孫宝排水土地改良区理事長
〃	神長 健一	常滑土地改良区理事長
〃	久野 知英	愛知用水土地改良区理事長
〃	山口 文雄	幸田土地改良区理事長 矢作南部土地改良区連合理事長
〃	杉浦 正行	明治用水土地改良区理事長
〃	浅井 喜代治	西尾土地改良区理事長 矢作川沿岸土地改良区連合理事長
〃	中村 健	西尾市長
〃	三浦 孝司	豊田土地改良区理事長
〃	林 文夫	みよし土地改良区理事長
〃	土屋 浩	設楽町長
代表監事	近藤 正俊	油ヶ瀨悪水土地改良区理事長
監事	小久保 武彦	学識経験者

事務局 局長	佐藤 広尚	名古屋支会 事務長	水野 浩
総務部 部長	酒井 貴志	一宮支会 事務長	加藤 充
事業部長兼地域保全課 課長	塚本 成見	一宮支会 事務長補佐(主幹)	松浦 輝
総括顧問 顧問	竹下 伸二	海部支会 事務長	大塚 淳
総務課 課長	三世 功	半田支会 事務長	小笠原 和彦
計画課 課長	西野 純	岡崎支会 事務長	長坂 紀
計画課 主任	大宮 谷	幡豆支会 事務長	保坂 一彦
〃	磯谷 亮	豊田支会 事務長	山本 哲也
整備課 課長	磯谷 亮	豊橋支会 事務長	山田 哲也
施設管理課 課長	伊東 邦泰		

ほか職員一同  
令和6年1月1日現在



みどりん



まはりちゃん